

2014年度（2015年3月期） 第1四半期 決算説明会

2014年 7月31日

セイコーエプソン株式会社

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新商品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

■ 本説明資料における表示方法

数値： 表示単位未満を切り捨て

比率： 円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

2014年度業績開示について

- 2014年度からIFRSによる業績を開示
- 第1四半期実績ならびに予想数値はIFRS
- 比較対象となる2013年度実績値、
ならびに2014年度の前回予想値(4月30日発表)も
IFRSに置き換えて表示

※ 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。
連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、
連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

1) 2014年度 第1四半期決算

2) 2014年度 業績予想

決算ハイライト（第1四半期決算）

(億円)	2013年度		2014年度		増減	
	1Q実績	%	1Q実績	%	増減額	増減率
売上収益	2,220	-	2,462	-	+242	+10.9%
事業利益	96	4.4%	235	9.5%	+138	+143.1%
営業利益	73	3.3%	546	22.2%	+472	+643.6%
税引前四半期利益	65	2.9%	547	22.2%	+482	+740.6%
四半期利益	49	2.2%	465	18.9%	+416	+835.2%
EPS	28.03 円		260.45 円			
換算 レート	USD	98.76円	102.16円			
	EUR	128.95円	140.07円			

- ◆ 情報関連機器、デバイス精密機器、センサー産業機器の全事業セグメントが堅調に推移、円安効果も加わり、売上収益および事業利益は社内計画を上回った
- ◆ 加えて、確定給付企業年金制度改定に伴う過去勤務費用の減少額が想定を上回ったことから、営業利益、四半期利益ともに社内計画を上回った

情報関連機器事業セグメント

インクジェットプリンター事業

- 先進国市場では、競合他社の価格施策影響により本体数量未達の一方、ASPは計画比上昇
- 大容量インクタンクモデルおよび商業プリンターは、計画通り販売を拡大
- 消耗品売上は、MIF構成改善効果により計画比増
- 以上により、売上収益は計画を上回った
- 加えて、本体コストダウンの進展、固定費の削減・期ずれなどもあり、事業利益も計画を上回った

ビジネスシステム事業

- SIDMは、南米は軟調だったものの中国・アジアが堅調に推移
- POS関連製品は、欧米市場を中心に底堅く推移
- 以上により、売上収益・事業利益ともに計画を上回った

ビジュアルコミュニケーション事業

- プロジェクターが、南米でのワールドカップ特需や教育向け案件の納入に加え、日本・北米での販売も堅調に推移して計画比数量増となり、売上収益・事業利益ともに計画を上回った

デバイス精密機器事業セグメント

マイクロデバイス事業

- ▶ 水晶は計画線で推移、半導体は一部需要の前倒しを含め外販、ファンドリー、内需ともに堅調に推移し計画比増
- ▶ 以上により、売上収益・事業利益ともに計画を上回った

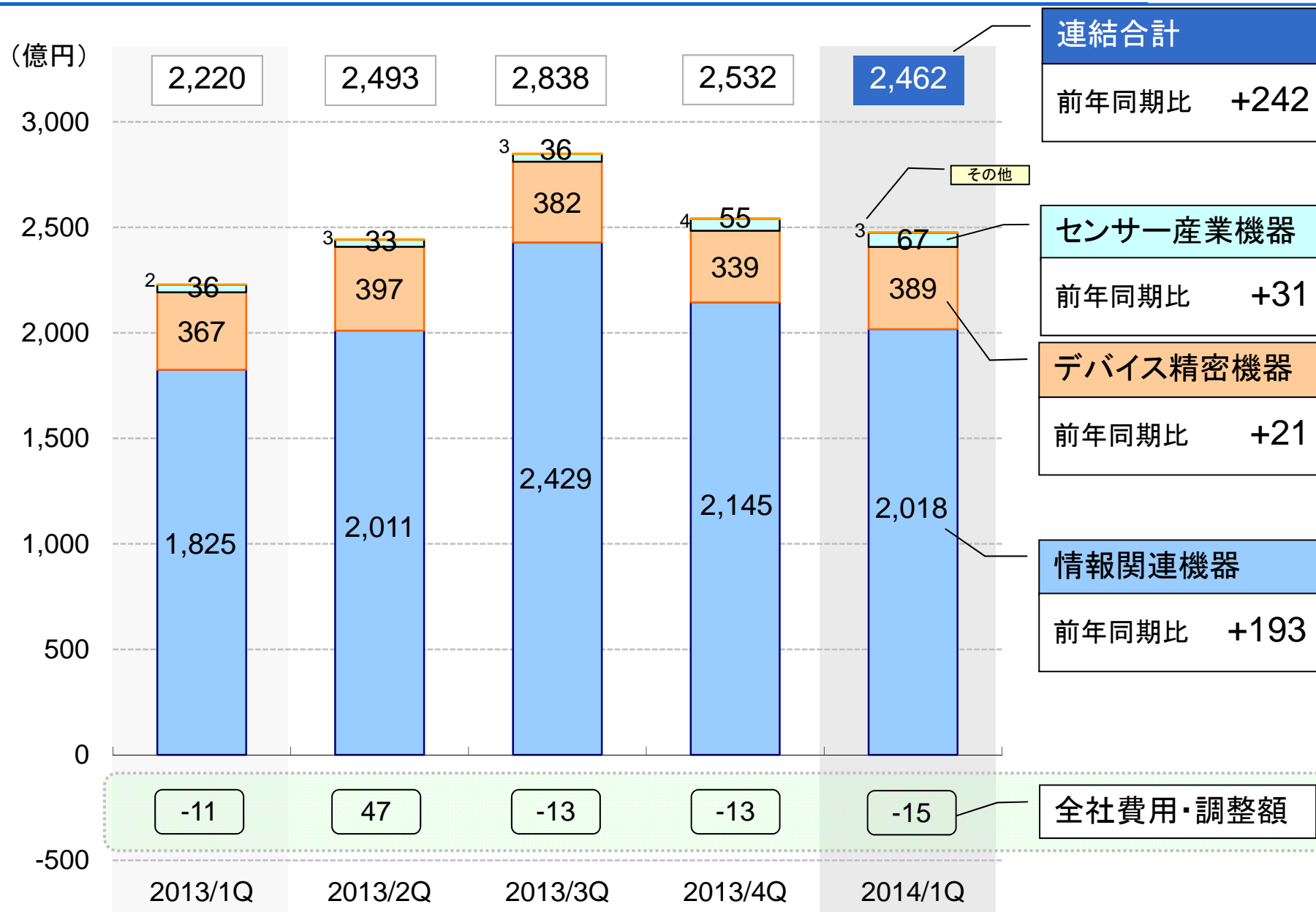
プレジジョンプロダクツ事業

- ▶ ウオッチは、国内ブランド完成品が堅調に推移した結果、売上収益・事業利益ともに計画を上回った

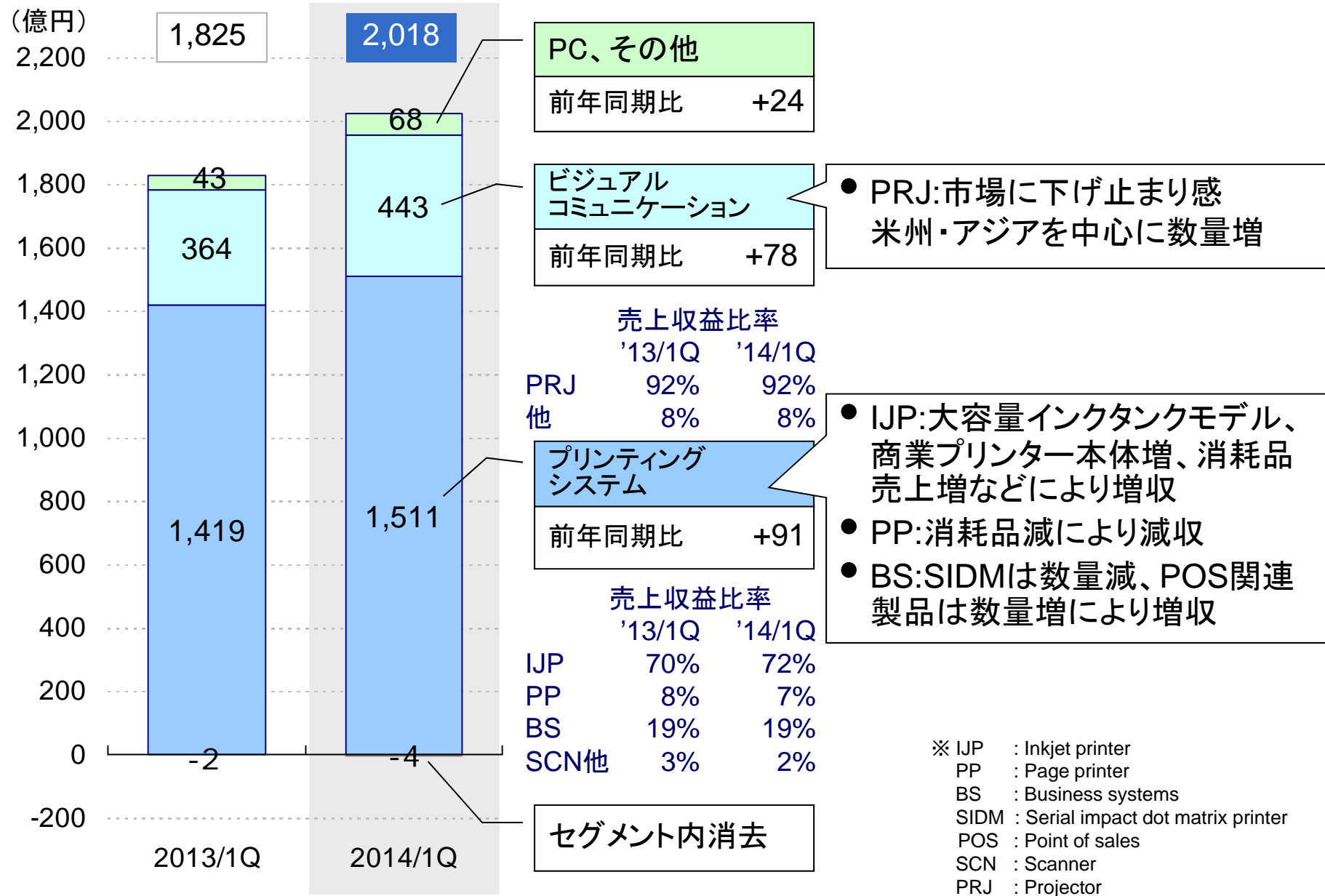
センサー産業機器事業セグメント

- ▶ センシングシステムは計画線で推移、インダストリアルソリューションズが精密組立ロボットやICハンドラーの受注増により、売上収益・事業利益ともに計画を上回った

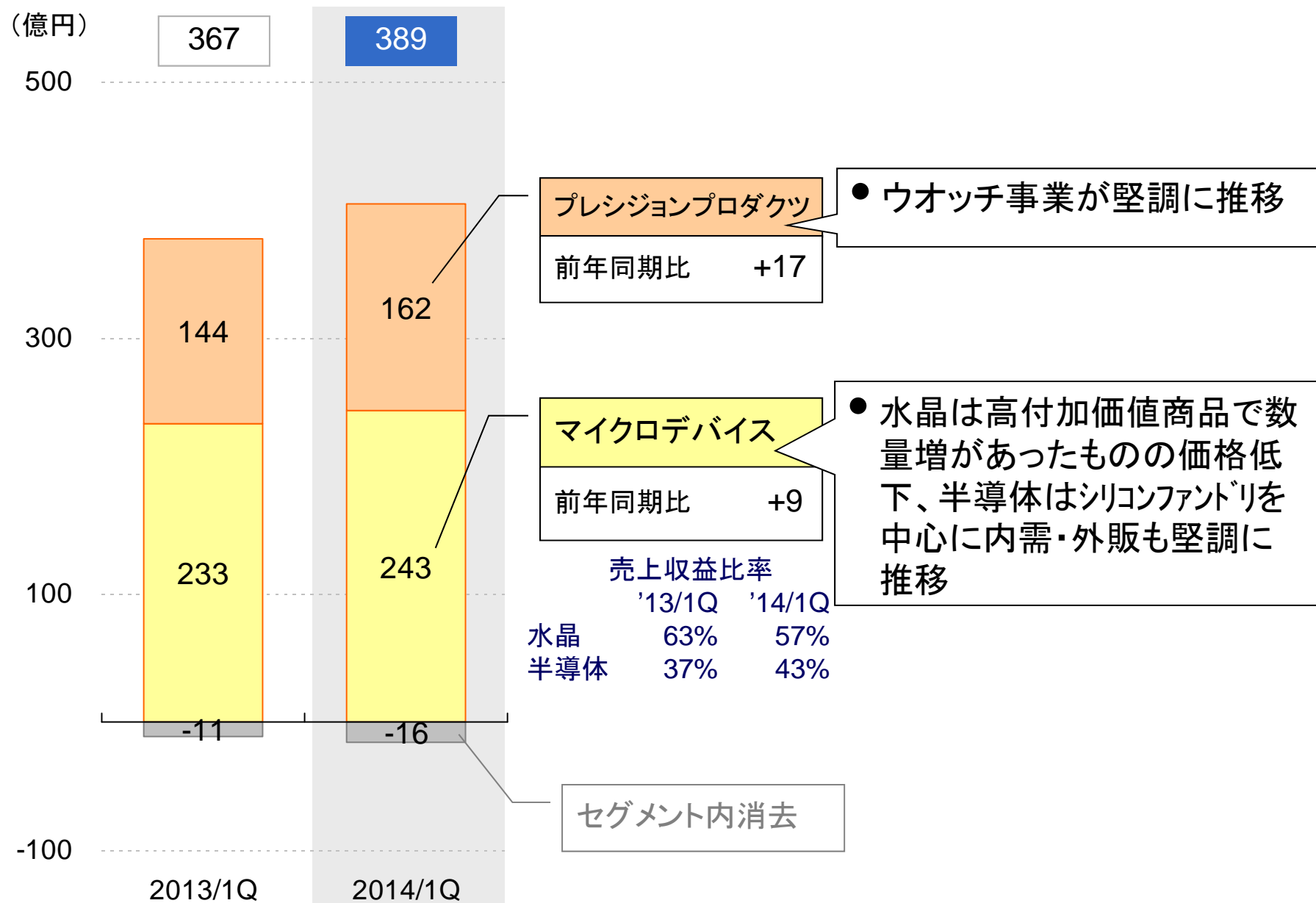
四半期売上収益推移 ▶ 事業セグメント別



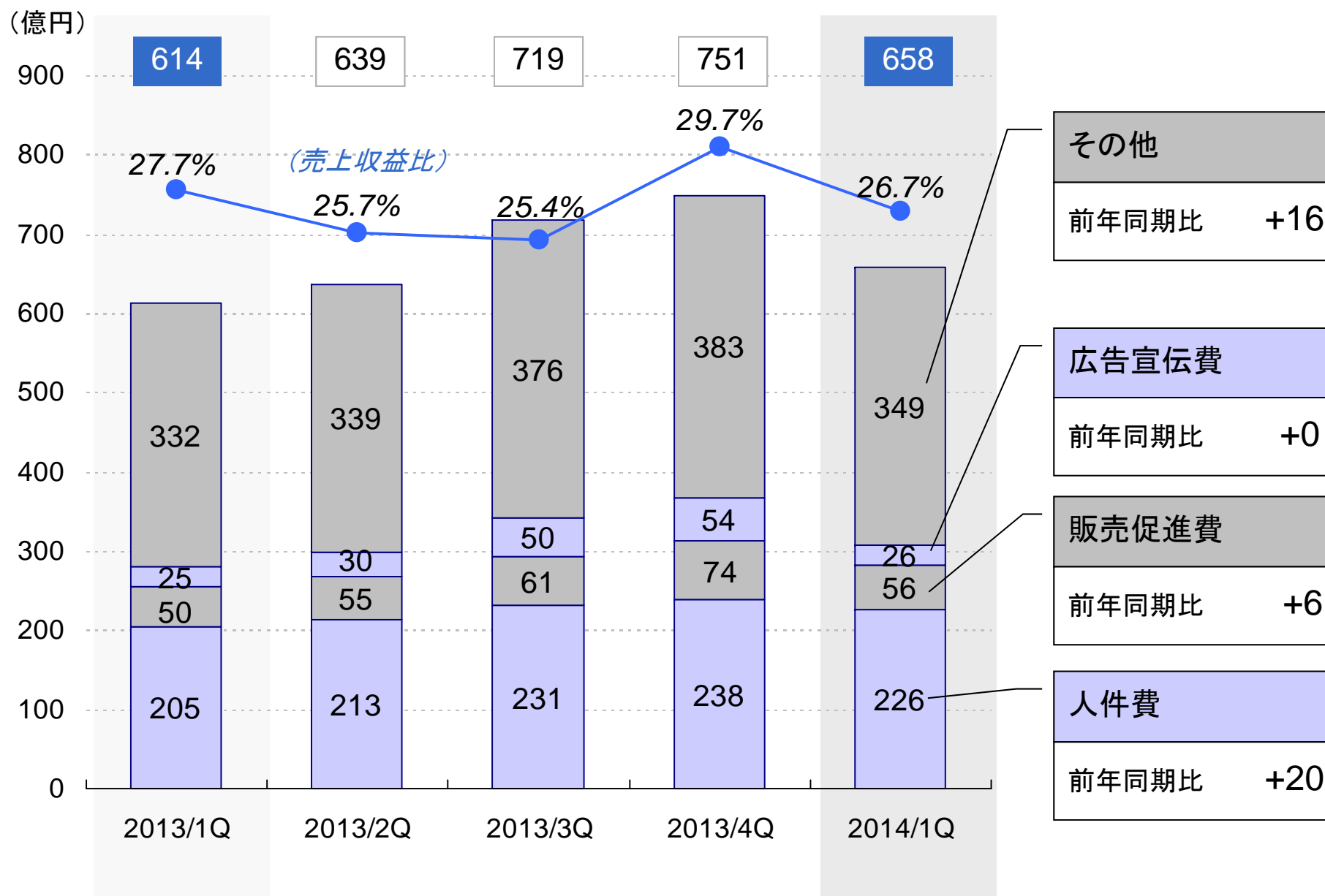
四半期売上収益比較 ▶ 情報関連機器事業セグメント



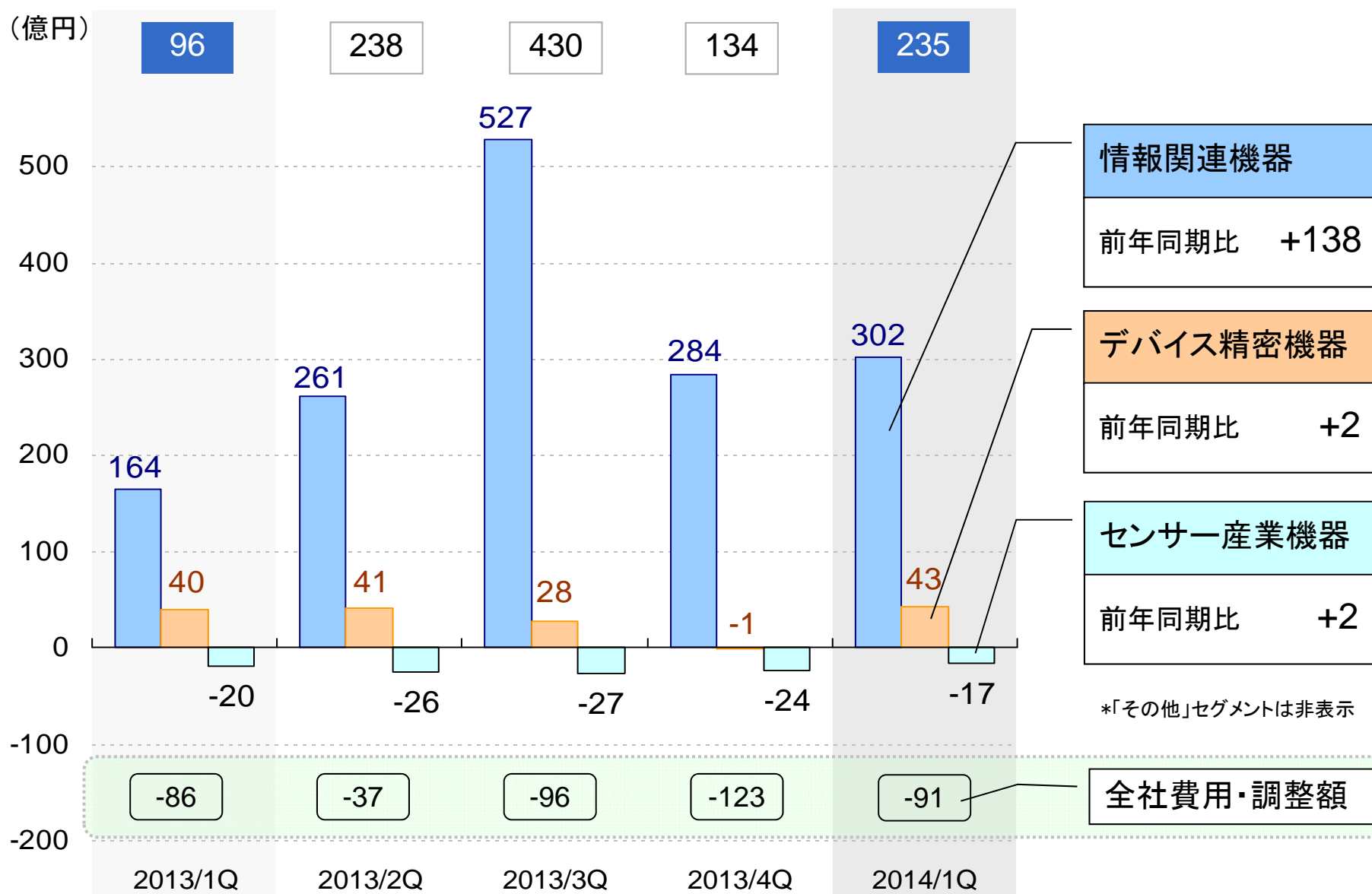
四半期売上収益比較 ▶ デバイス精密機器事業セグメント



四半期販売費及び一般管理費推移



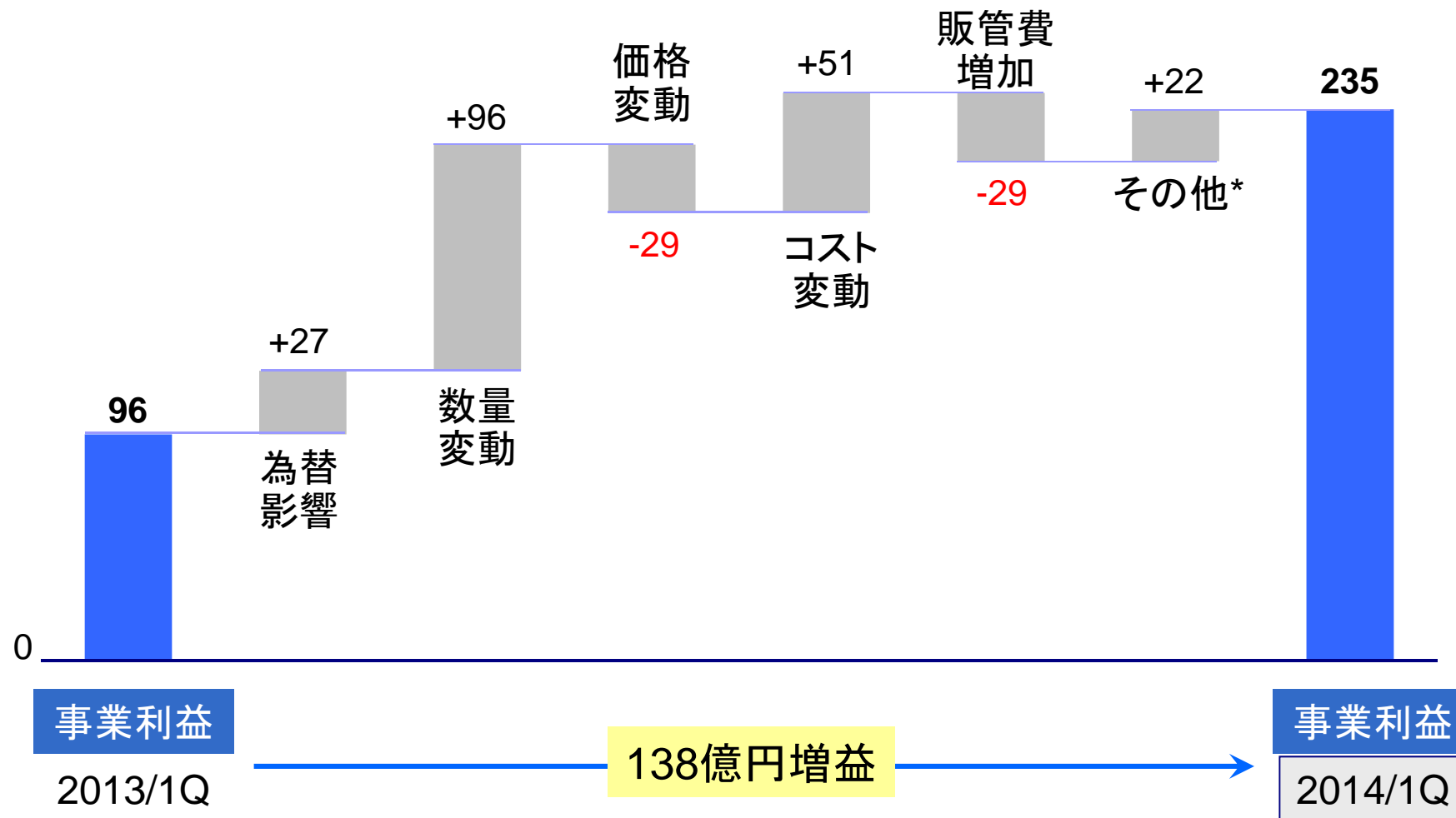
四半期事業利益推移 ▶ 事業セグメント別



* 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出

事業利益増減要因分析

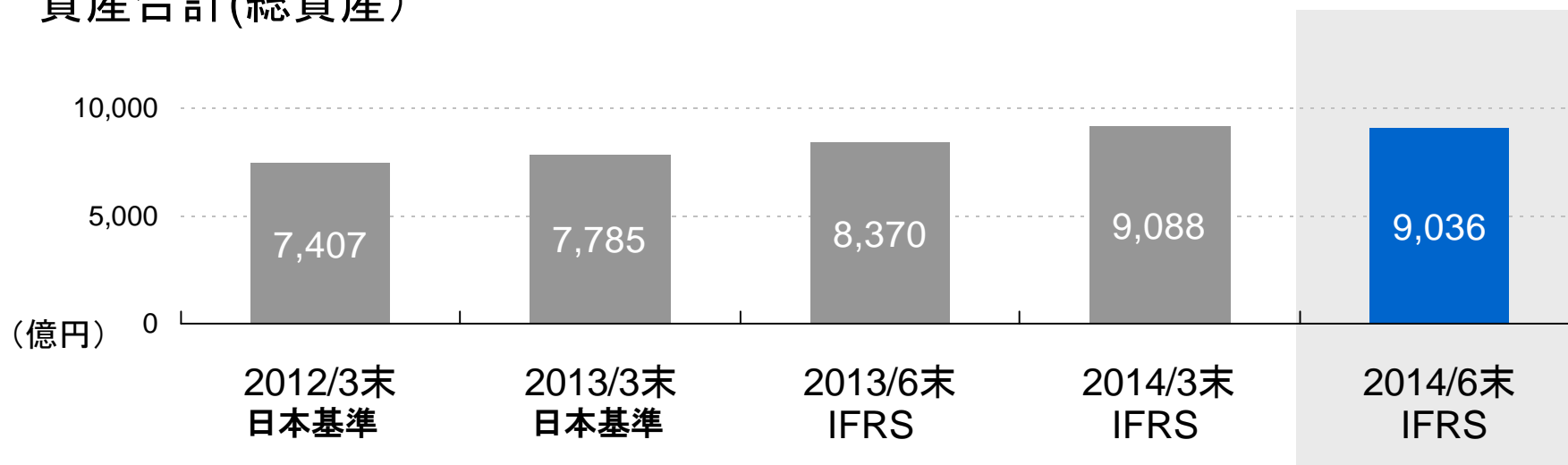
(億円)



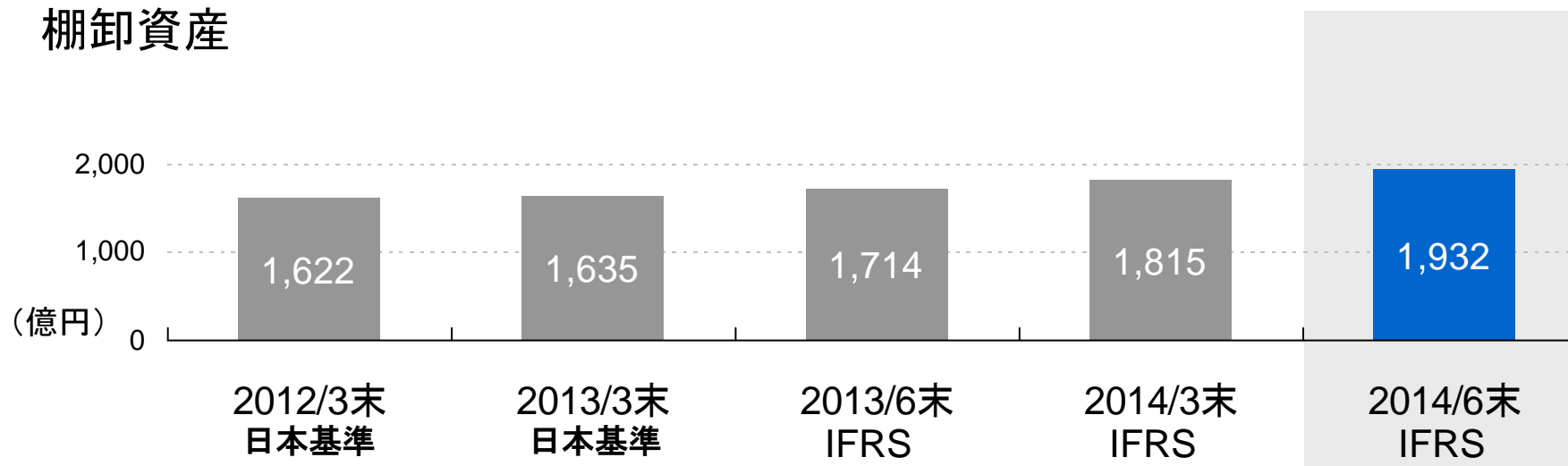
*: 全社費用セグメント及び各セグメントにおいて類似商品同士の比較に適さない商品・事業の増減の総計

財政状態計算書主要項目推移

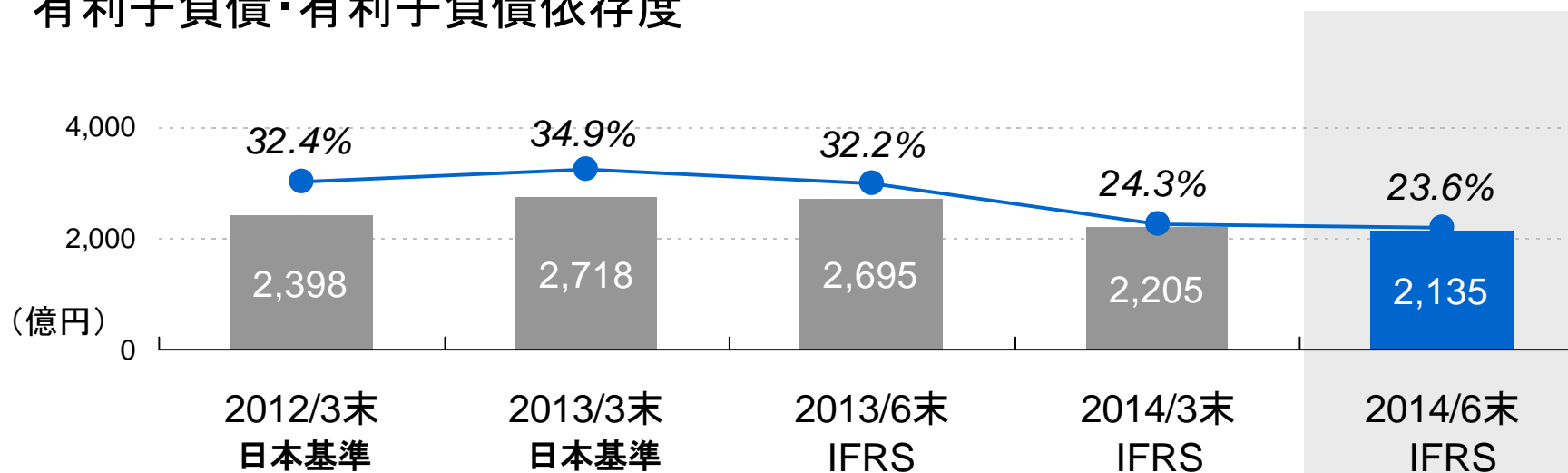
資産合計(総資産)



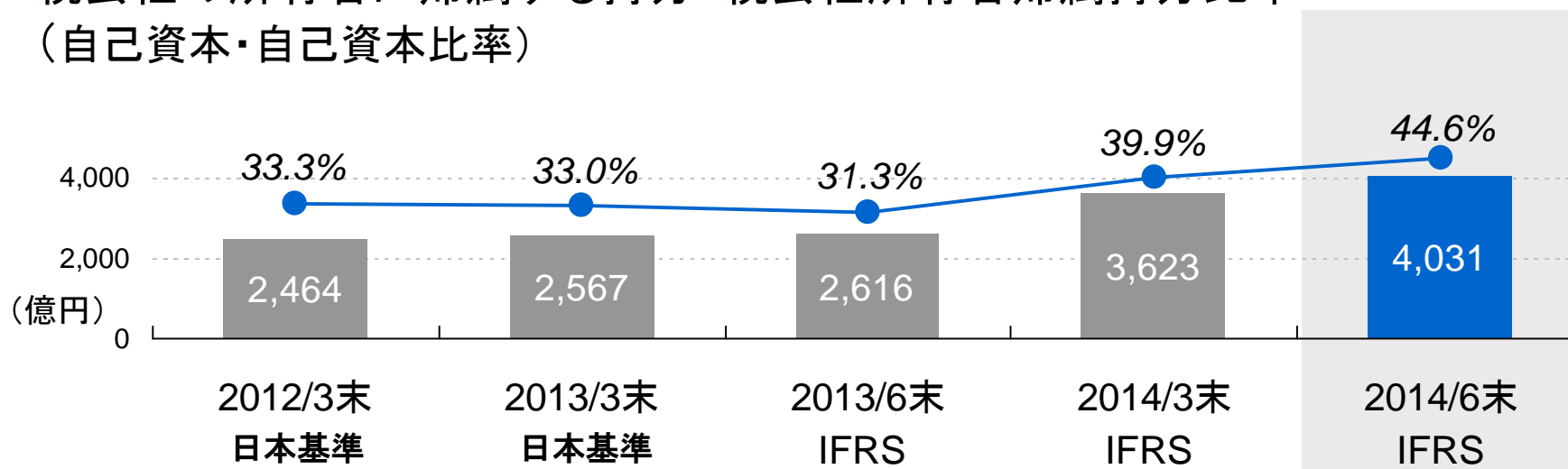
棚卸資産



有利子負債・有利子負債依存度



親会社の所有者に帰属する持分・親会社所有者帰属持分比率 (自己資本・自己資本比率)



*有利子負債:リース負債を含む

1) 2014年度 第1四半期決算

2) 2014年度 業績予想

2014年度業績予想

(億円)	2013年度		2014年度				増減額 / 増減率		
	実績	%	4/30予想	%	今回予想	%	前期実績比	4/30予想比	
売上収益	10,084	-	10,100	-	10,400	-	315 +3.1%	+300 +3.0%	
事業利益	900	8.9%	850	8.4%	920	8.8%	+19 +2.1%	+70 +8.2%	
営業利益	795	7.9%	1,040	10.3%	1,200	11.5%	+404 +50.8%	+160 +15.4%	
税引前利益	779	7.7%	1,030	10.2%	1,190	11.4%	+410 +52.6%	+160 +15.5%	
当期利益	844	8.4%	800	7.9%	1,000	9.6%	+155 +18.4%	+200 +25.0%	
EPS	472.03 円		447.20 円		559.00 円		<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> 今回予想 2Q以降の為替レート前提 USD: 100.00円 EUR: 135.00円 </div>		
換 算 レ ー ト	USD	100.23 円	100.00 円		100.00 円				
	EUR	134.37 円	135.00 円		136.00 円				
							為替感応度(1円円安の年間影響額)		
							売上収益	事業利益	
							USD	+約37億円	+約3億円
							EUR	+約11億円	+約8億円

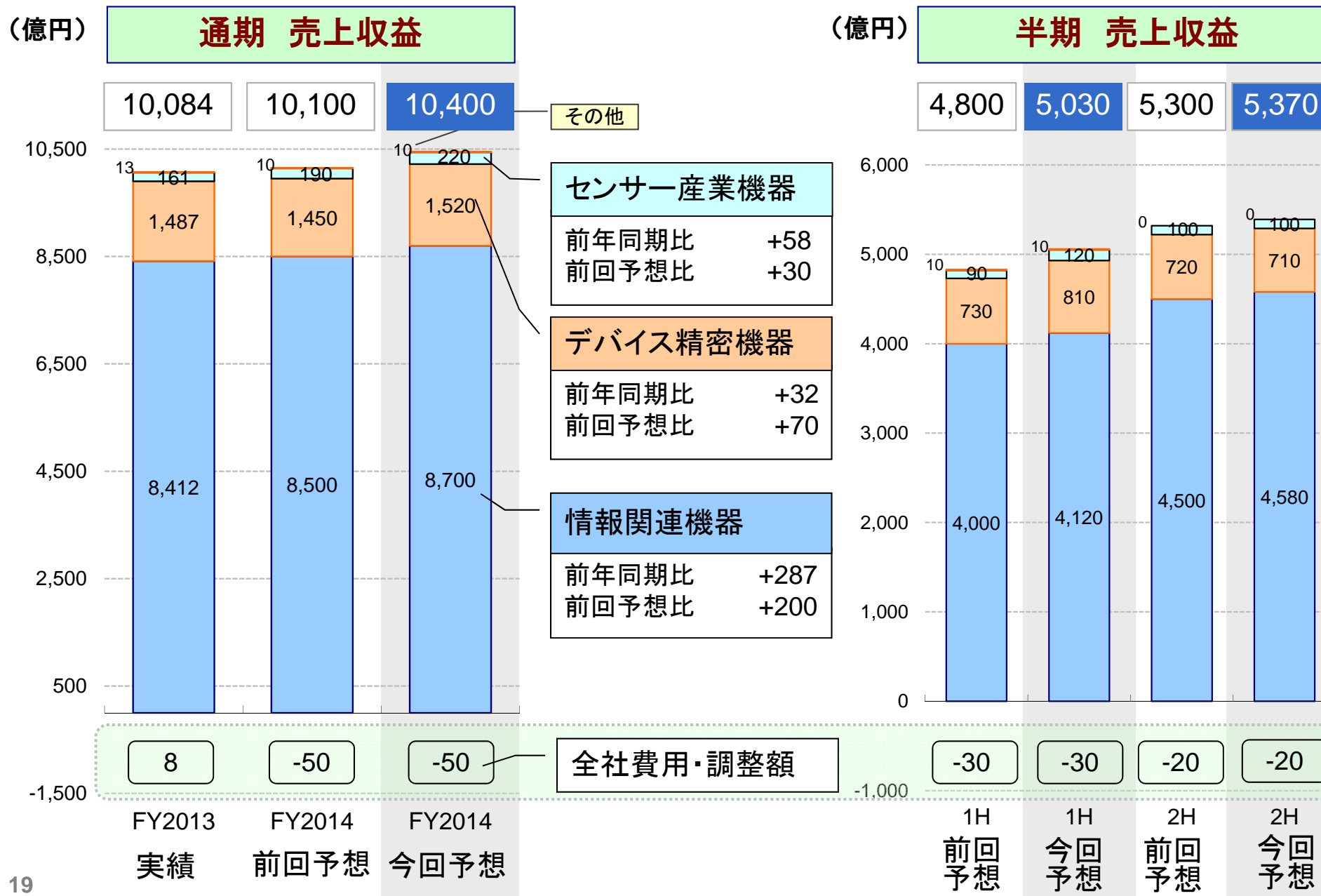
第2四半期以降の業績予想に以下の要素を織り込む

- インクジェットプリンター事業では、来期以降の消耗品販売拡大に向け、期初販売目標数量達成のための、先進国市場でのホーム・オフィス向け本体の拡販施策を織り込む
- マイクロデバイス事業では、上期への一部需要の前倒し影響などを織り込む

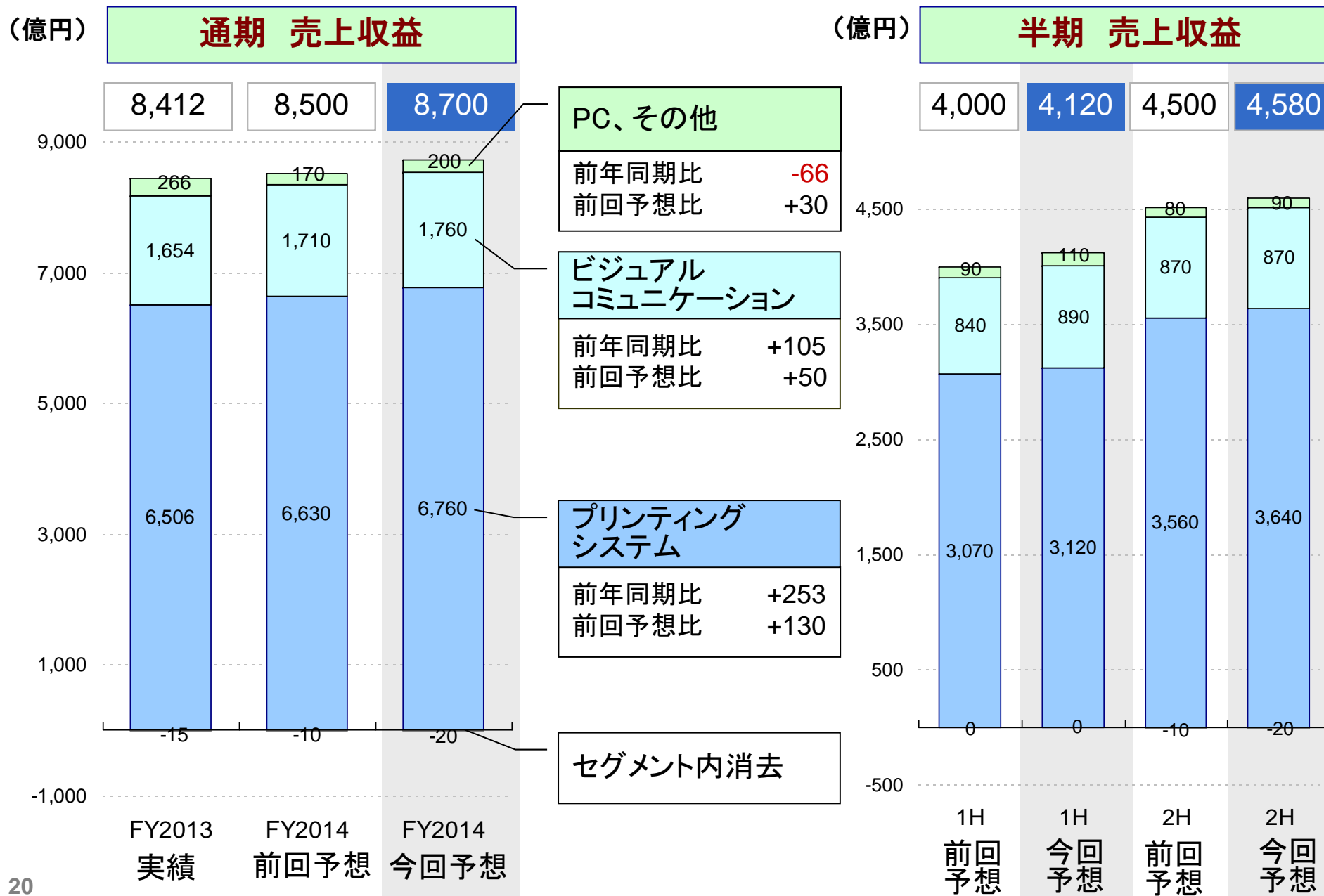
	売上収益			事業利益		
	前回	今回	修正	前回	今回	修正
上期	4,800	5,030	➡	240	380	➡
下期	5,300	5,370	➡	610	540	➡
通期	10,100	10,400	➡	850	920	➡

※ 第2四半期は前回予想前提を上回る見通し

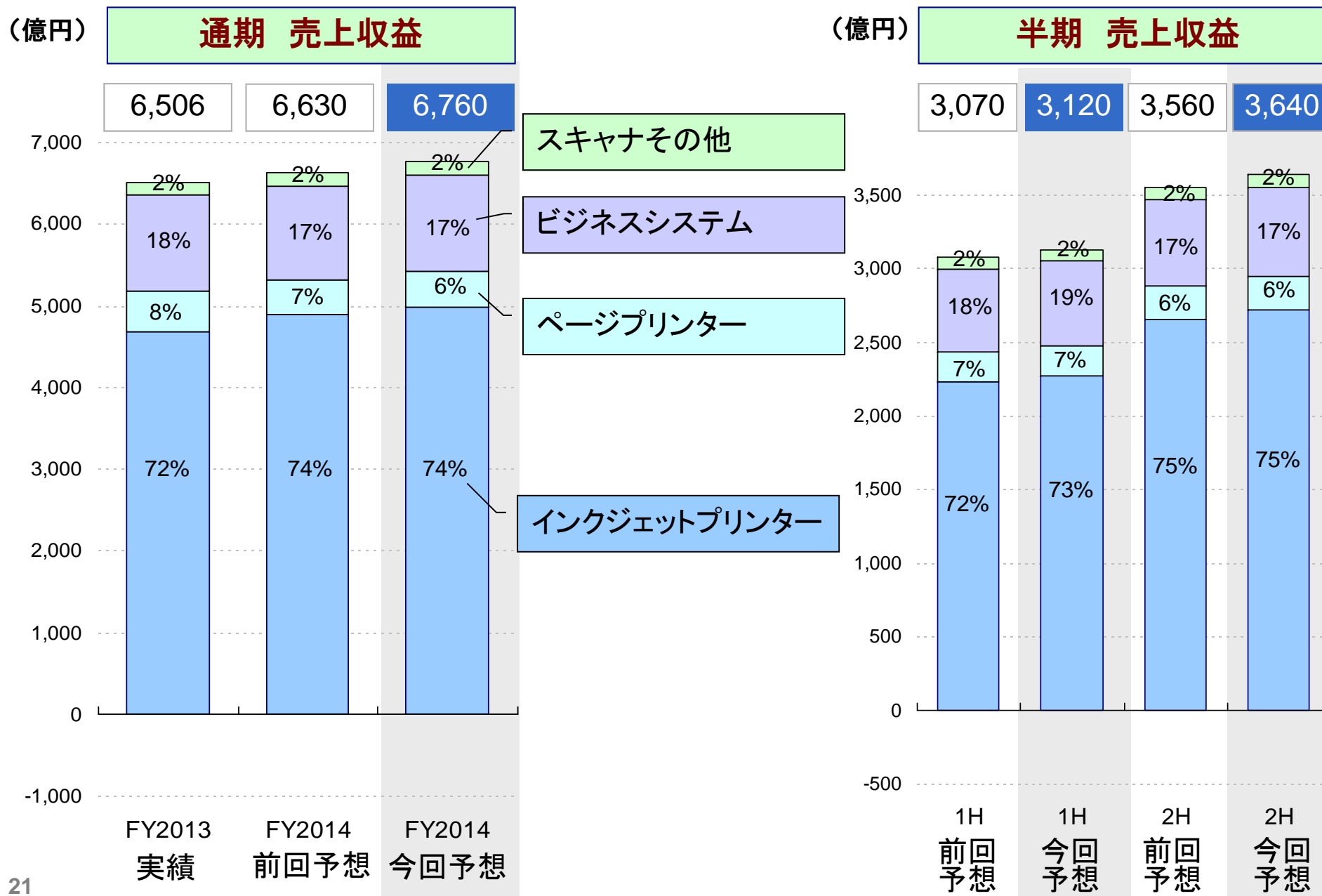
2014年度業績予想(売上収益)▶事業セグメント別



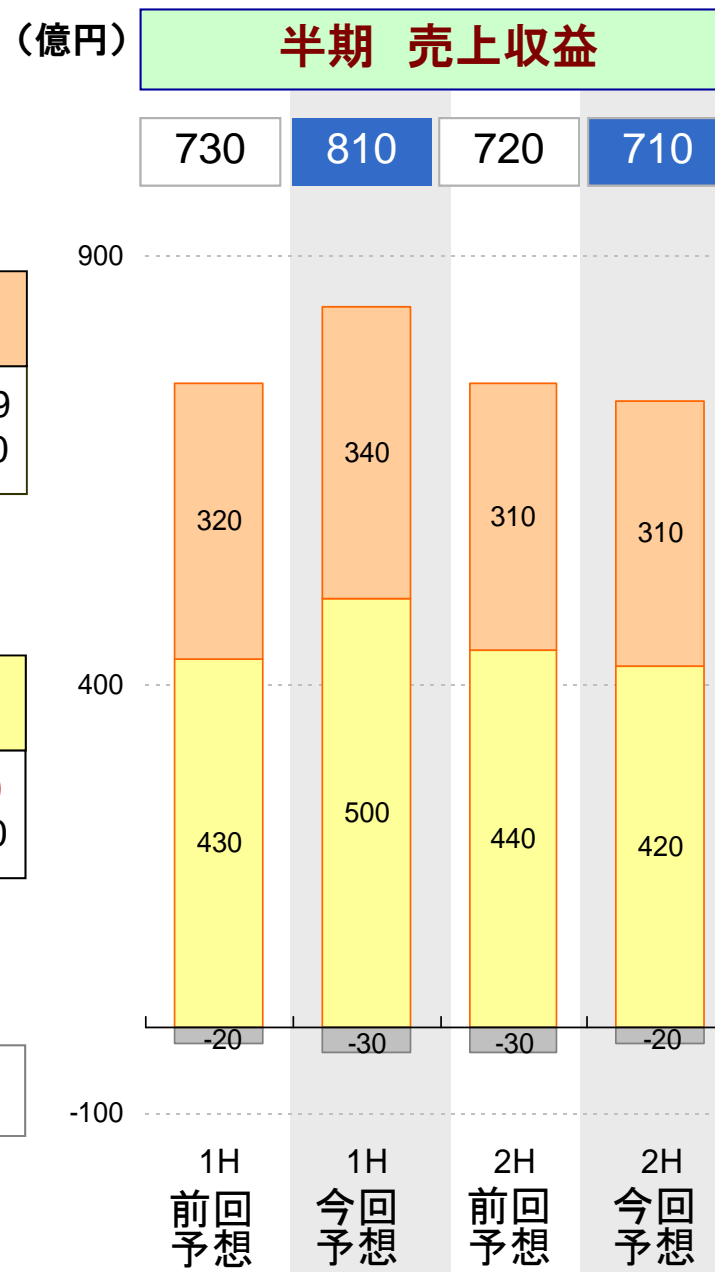
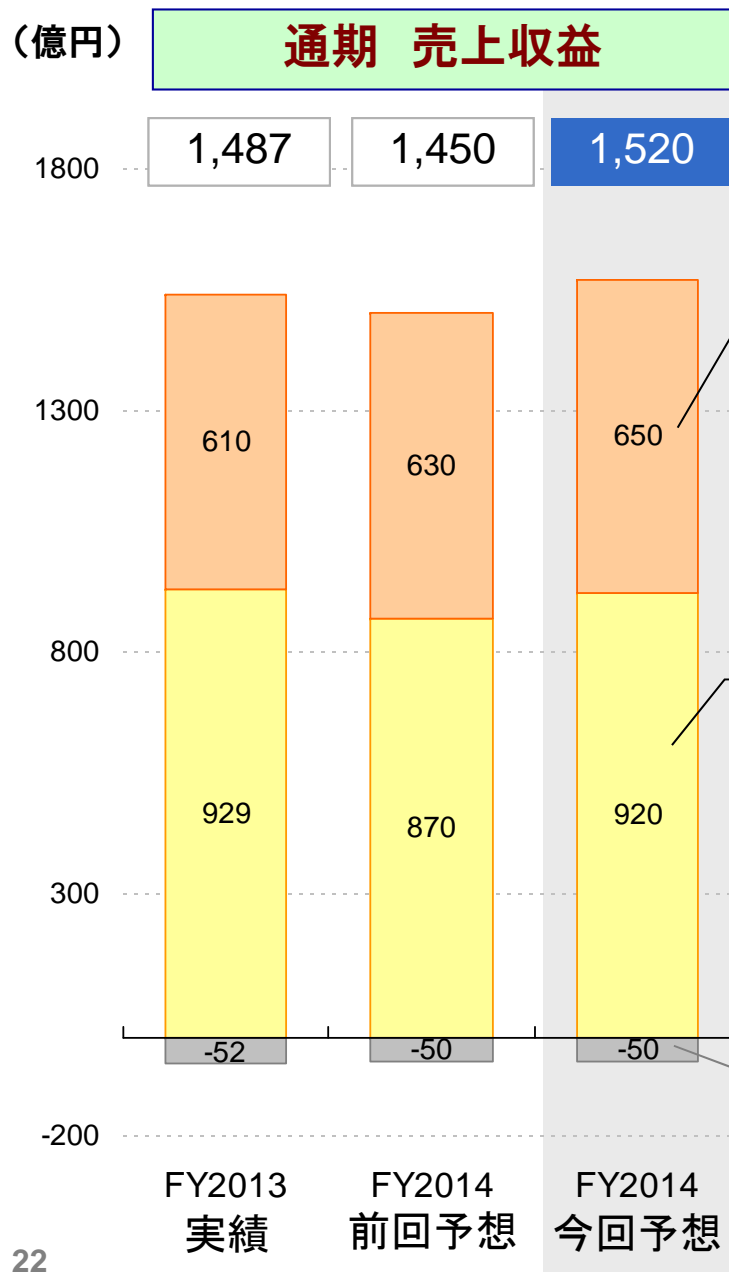
事業別売上収益予想 ▶ 情報関連機器事業セグメント



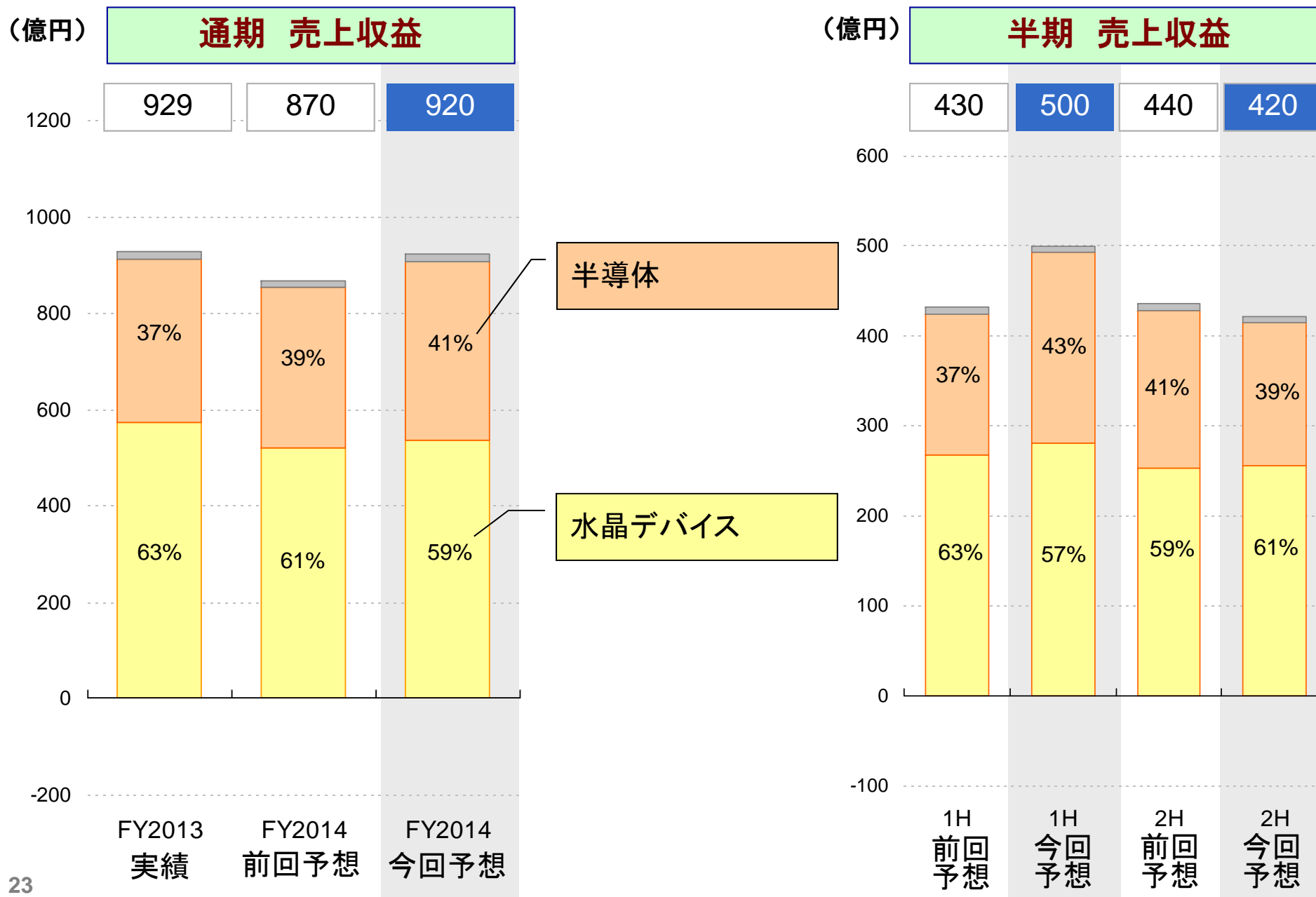
事業別売上収益予想 ▶ プリンティングシステム事業



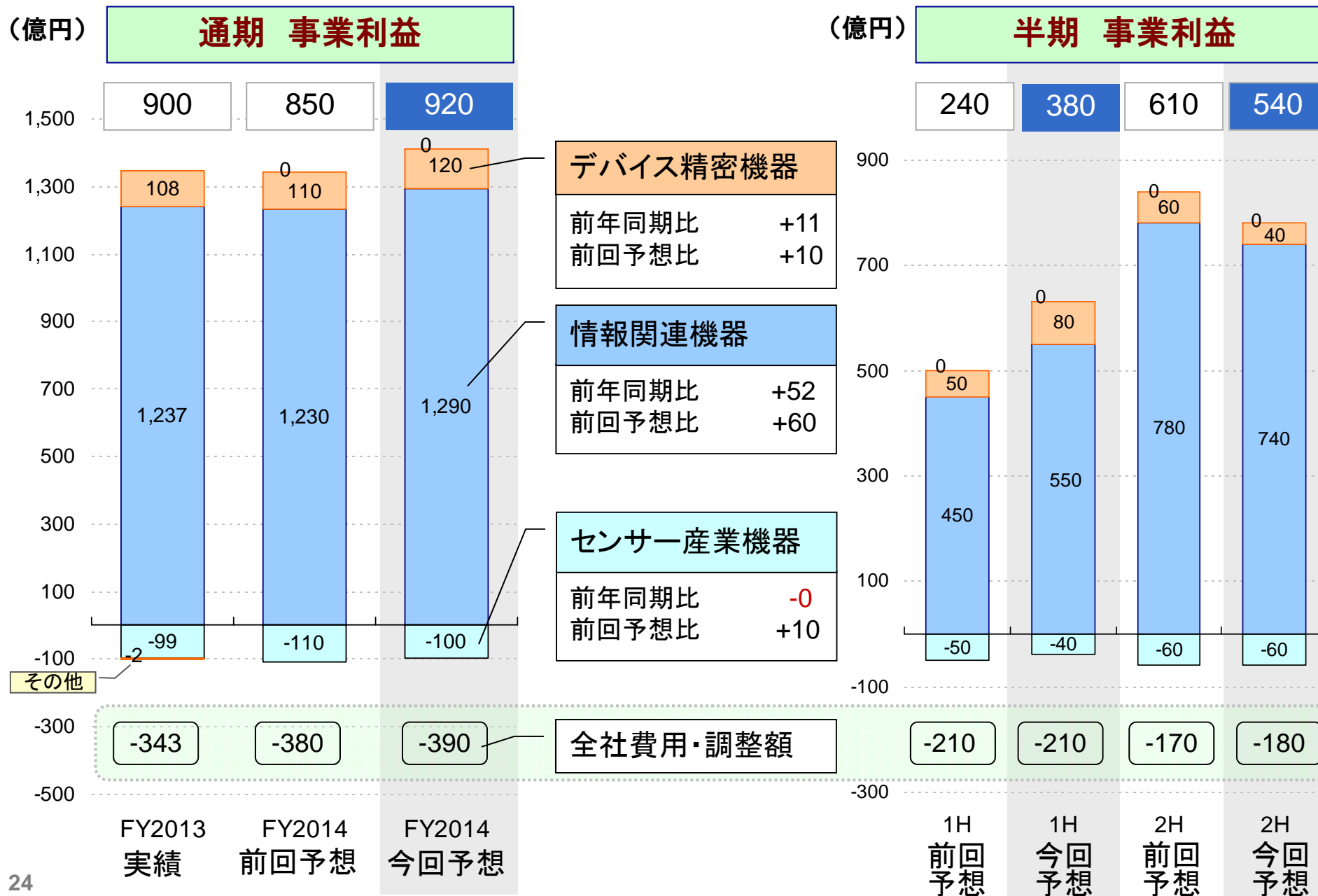
事業別売上収益予想 ▶ デバイス精密機器事業セグメント



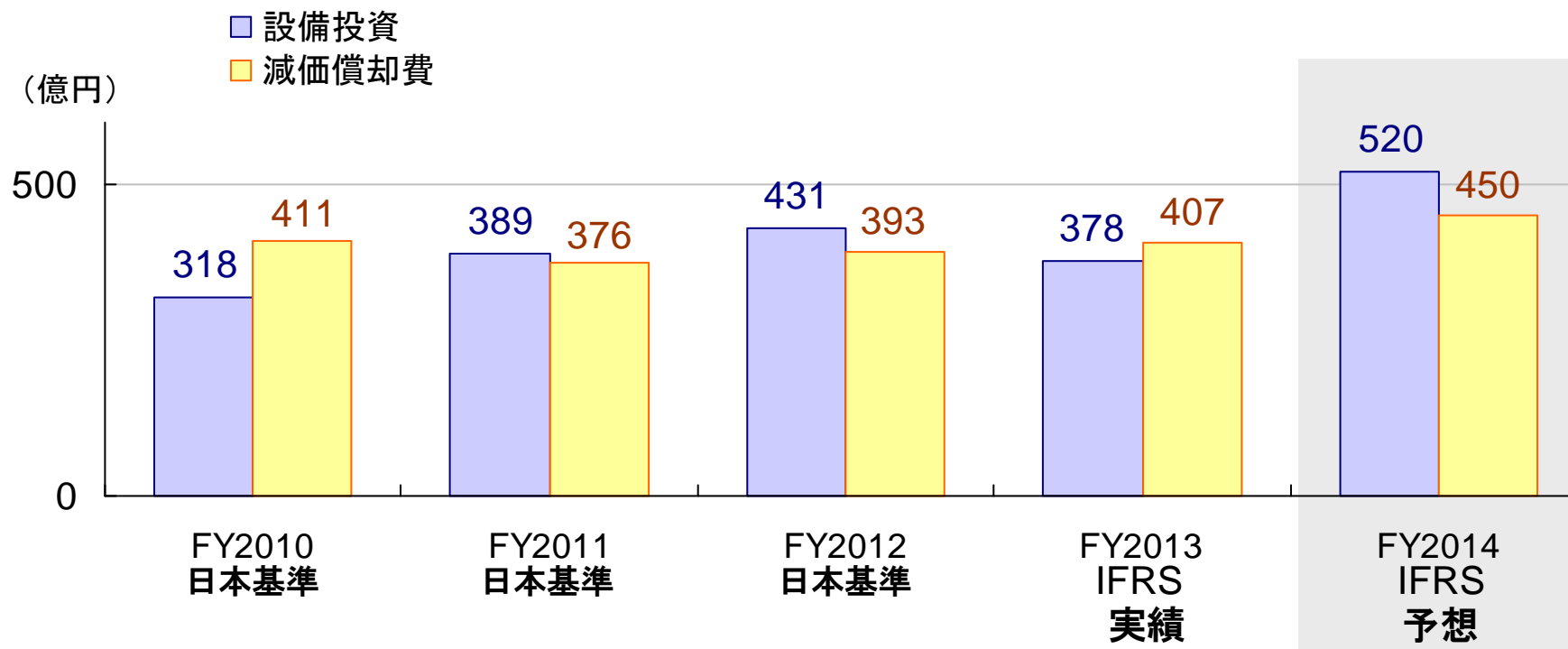
事業別売上収益予想 ▶ マイクロデバイス事業



2014年度業績予想(事業利益)▶事業セグメント別



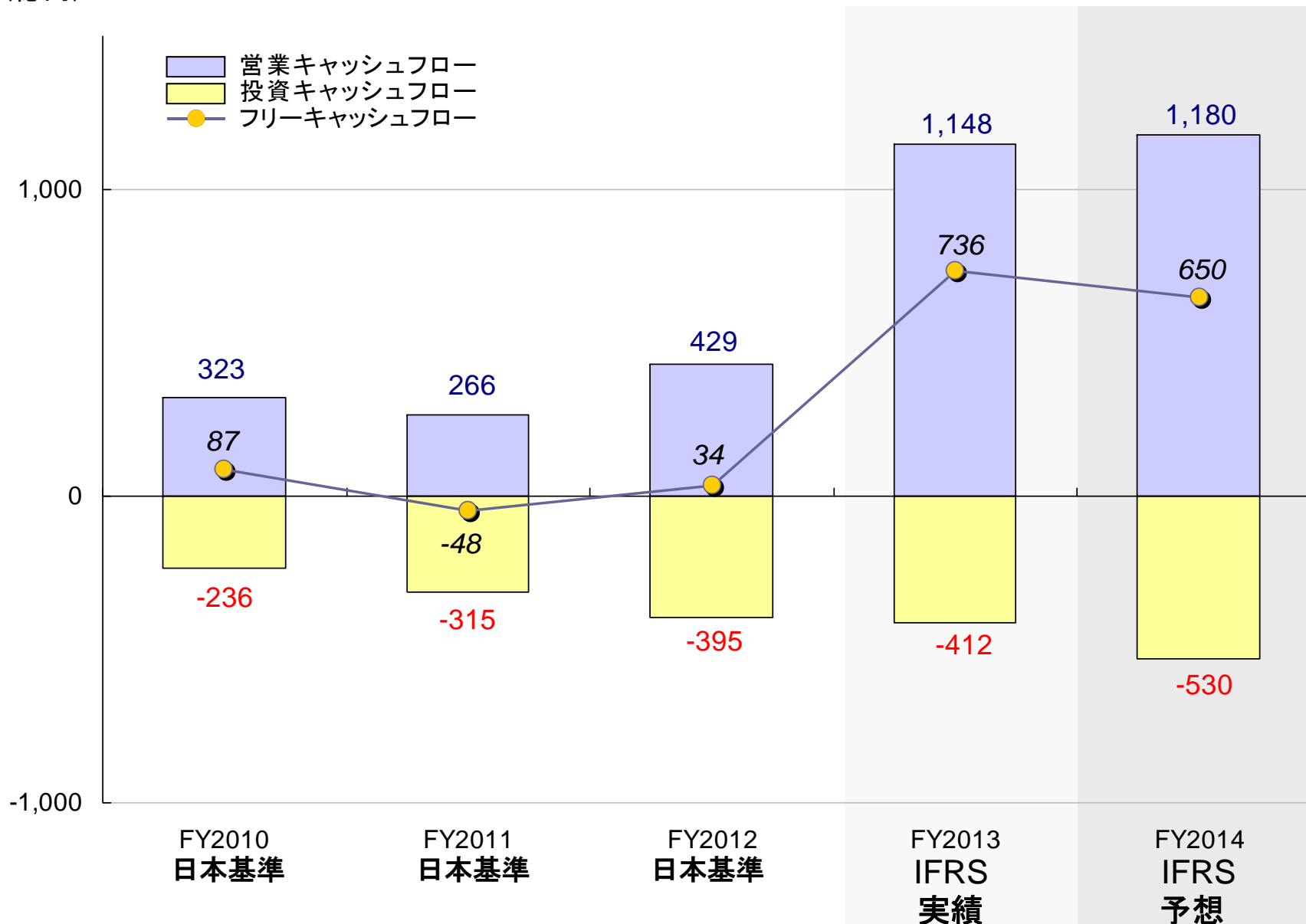
設備投資・減価償却費予想



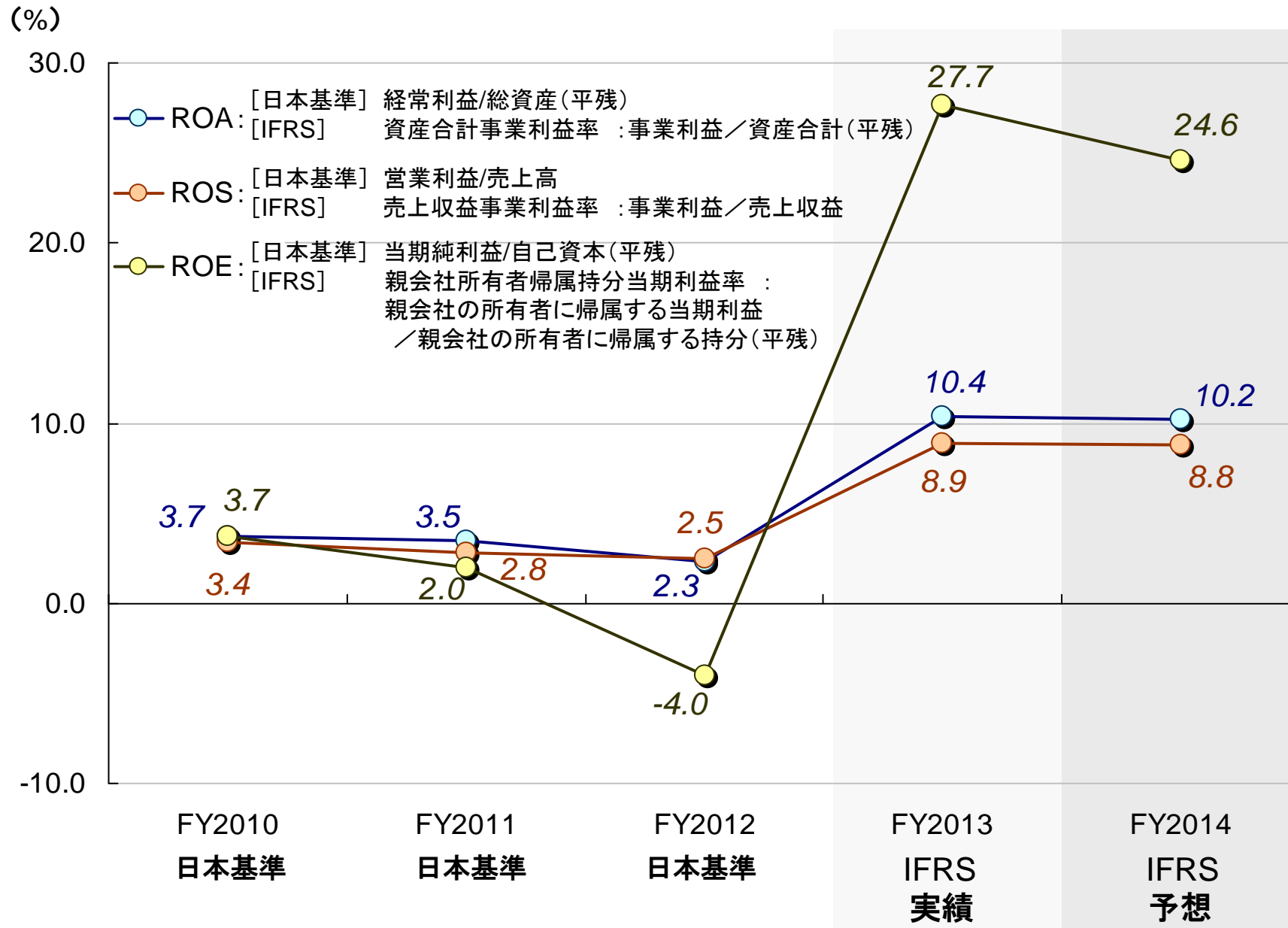
<セグメント別内訳>	FY2013実績		FY2014予想	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
情報関連機器	268	273	360	320
デバイス精密機器	80	76	90	80
センサー産業機器	8	7	20	10
その他・全社費用	20	49	50	40

フリーキャッシュフロー予想

(億円)



主な経営指標の推移



EPSON
EXCEED YOUR VISION